

お茶の時間



2011年3月11日、東京電力福島第1原子力発電所事故が起つた。それから5年、放射能への不安はぬぐえないままだ。

「花は植えても、野菜は育てて駄目なんだ」「あなたには関係ないんだ。遠くに住んでいるんだから」被災者たちのこうした言葉を頭をよぎる。

起つた甚大な被害につながらず原発事故。この小笠原島でいつまで依存していくつもりなのか。私にはさっぱりわからない。追悼式の日、天皇陛下のお言葉は、心にしみた。

五年前の、東日本大震災で、意を失くしたお茶の言葉だ。二人のためにも、もうあんなことを。

和かくよみに 生きたよう 一日一日も 大切に

こころに響く言葉

ほどほど健康法

肩こりかひどい。整形外科での受診結果は、異常なし。毎日肩を回したり、上げ下げしたりの運動を心がけるように、と言われた。夜になると左肩だけに痛みを感じる。

久しぶりの、ぶらぶら下り健康器具を使つた。その日の夜は痛みの社うらみの、五年前に購入した「ぶらぶら下り」をベンチシート付き、を診療所から自宅に移動。一日に数回ぶらぶら下るようになった。

一日一分ほどで良いというが、私には一分ほどでも無理なの二十秒で終了。あとは少しだけ床に足をつけて二十秒ぶらぶら下る。それでもスッキリだ。もちろん肩回しと、首を回すことも続けていた。

健康法は人それぞれ。

湯船に浸りながら足首を左右二十回ずつ回し、手の指はグー、チョキ、パーと動かす。無理をしな、ムキにならな、楽しいと思つて回す。運動を心がける。

いつもお元気でですね、と言われる。お腹も背骨中も手術痕だらけ。みくんな体に何かしら問題を抱えていたんだから。ほどほどの運動でよしとする。



簡単にかなり大変。握力は上がったが、(コナリに感がある)大きいので邪魔に。人の背骨、わが身を

歯のよもやま話 第二十八話

歯と文学 六 古典文学

小説に移ろうとしたら、最初のテーマが『枕草子』。小説と言うタイトルも付けづらいので古典文学としました。さて、『枕草子(まぐらのそうし)』ですが、御存知の通り平安時代に清少納言(せいしよなごん)によって書かれた随筆で、学校でさわりを読ま(さ)れた方もたくさんおられることでしょう。その第一八〇段

十八九ばかりの人の、髪いと麗しくて、たけばかりすそふさやかなるが、いとよく肥えて、いみじう色しろ、顔あじやうづき、よしと見ゆるが、歯をいみじく病みまどひて、額髪もしとどに泣きぬらし、髪の亂れかかるも知らず、面赤くして抑へ居たるこそをかしけれ

というのがあります。十八九の髪のきれいな背の高い太つた白い顔のかわいい子が、歯が痛くて髪を振り乱し顔を赤くして頬を押さえているのがいい。とても訳すのでしようか。むしろ歯をかわいいというのは清少納言に限った事ではありませぬ。

ライバルの紫式部(むらさきしきぶ)の『源氏物語(げんじものがたり)・賢木(さかき)の巻』には、藤壺が出家を決意し、息子東宮との別れの際の東宮の様子を御歯の少し朽ちて、口の中の黒みて笑み給へる、かをりうつくしきは、女にて見奉らまほしう清らなり

とあります。歯が少しむし歯になって、口の中が黒く見え、お笑いになる様子は女性にしたいほど清楚だ。とてもいうのでしようか。ここでも虫歯も美しいものと見られています。

『竹取物語』では、求婚者に宝物を探してくるよう難題を与える場面があります。このうち大納言大伴御行(おおとものみゆき)には「龍の首の珠」を命じます。これは正倉院の「五色龍歯(ごしきのりゆうし)」のことと考える人がいます。『正倉院宝物』の「種々葉帳」に「五色龍歯」という二五センチあまりのインドからもたらされた石葉が伝えられています。実はこれは化石象の臼歯であり、鎮静剤として使用されたものです。『ドキュメント正倉院 2000年の罪が開かれた』(日本放送出版協会、1991年)

『堤中納言(つづみちゆうなごん)物語』は平安時代後期に書かれた短編集です。作者はわかつていません。そのなかの『虫愛(む)づる姫君』は特に有名です。毛虫を可愛がるお姫様の話ですが、現在の小中学生の昆虫博士のような元気で可愛い女の子の話です。どんな姫か見てやろうと忍んでいった先の姫様の様子は

簾をおし張りて、枝を見はりたまふを見れば、かしらへきぬ着あげて、髪も、さがりば清げにはあれど、けづりつくるはねばにや、しぶげに見ゆるを、眉いと黒く、はなばなとあざやかに、涼しげに見えたり。口つきも愛敬づきて、清げなれど、歯黒めつけねば、いと世づかず。『化粧(けそう)』したらば、清げにありぬべし。心憂くもあるかな」とおぼゆ

すだれを押上げ、枝の毛虫を見ている様子は髪もきれいだがとかしてないので地味に見える。眉は黒くすつきりしている。口元も愛嬌があり清楚だが、お歯黒を付けてないので変な感じがする。お化粧すればもつといいのに。ですか。当時は眉を刺つてお歯黒を付けるのがあたりまえだったので、平安時代にもこんなお姫さまがいたんですね。

子田晃一

流れ流れて...

自宅から車で数分の海岸にクジラが打ち上げられた...

新郷市水族館マリンドームは、七日午前中に見つけた...



流し打縛せるのも忘れず眺めて。



- 本間義治 著「日本海のクジラたち」
小林基三 著「小説 クジラ学校」

新潟県上越市柿崎区にある上下流小学校だ。

明治四十五年三月、漂着した体長三メートルもあるシロクサ...

昔から座礁したクジラは、神の恵みと考えられてきたとか。

初めその体験で興味があった。かき、医学書専門に出版する...

ピッカピカの〜いちねんせい

Table with 7 columns and 6 rows of numbers and characters: 力赤天空人花出学上月七一, 休白気川名草入枝下火八二, etc.

躍動感あふれる春。初めて子ども小学校に送り出す家庭では...

いいもの みつけ!

ニッスイの缶詰「スルッとふた」は素晴らしい。我が家では多種の缶詰を常備...



美術散歩

特別展 生誕150年 黒田清輝 — 日本近代絵画の巨匠
東京国立博物館 110-7541 03-5777-8600

いいなこの本

築地市場の魚市場の一日
築地市場は海外からの旅行者に人気と聞いた。日本一の水産物取扱量...

月のつぶやき
俳句は詠まじいから木曜TV番組「アレバト」の俳句コーナーを楽しんでいる。